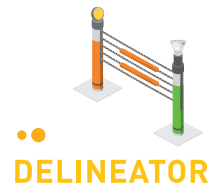


▶ワイヤロープ式防護柵用

ゴム製視線誘導標 (ソーラー式自発光)

Rubber Delineator



- ✓ 高い視認性
- ✓ 注意喚起



特長

- 視認性を確保
夜間の視認性に優れています。
- ターンバックル部の目印に
事故復旧時、夜間でも連結部がすぐに分かります。
- ワイヤロープ式防護柵の端部の目印に
ドライバーへの注意喚起に適しています。

KDL-40TC 【同時点滅式】

製品写真



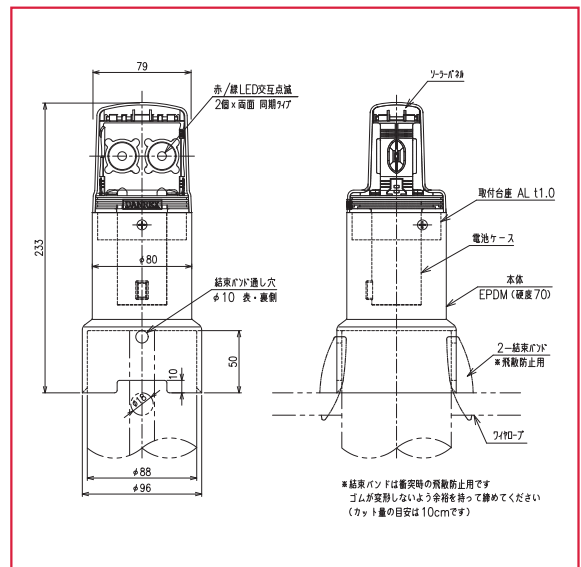
●夜間 両面発光



2色LEDは赤/緑が交互に点滅

※自発光部はダンレックス社製

構造図



KDL-40TC 結束バンドの施工について

KDL-40TCはワイヤロープに結束バンドで止める事で脱落防止を行います、必要以上にテンションを掛けますとデリネーター本体のゴムが伸び、破損する事が想定されますので注意して施工して下さい。

STEP 1

既存キャップを取り外します。
(取り外したキャップは使用しません)



STEP 2

デリネーターを支柱にしっかりと被せ下部の切り欠きとワイヤの位置を合わせます。



STEP 3

結束バンドは緩みのある程度とします。前後2本とも留めて下さい。(カット量の目安は100mmです)



施工例

■ 防護柵ターンバックル部

2個の使用でターンバックル部を知らせます。

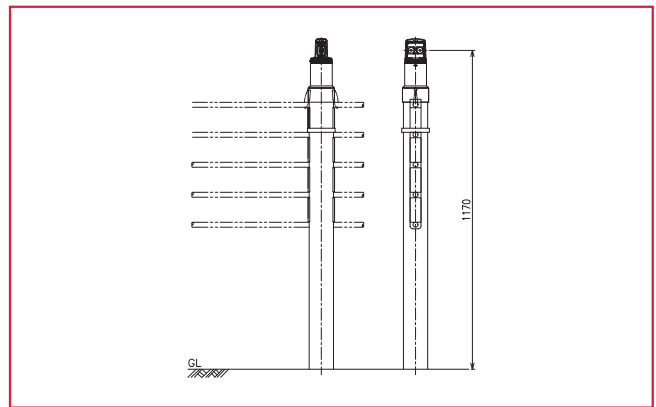


■ 防護柵端部

防護柵の端部を知らせます。



■ 設置図



【本製品取扱いのご注意】

■ 同時点滅式について

同時点滅式は標準電波(JJY)を利用しており、電波を受信しにくい以下の状況では点滅のズレが発生する場合があります。

- ・空港近くや交通量が多いところ
- ・高圧線、テレビ塔、電車の架線が近いところ
- ・山間部、鉄筋コンクリート製の建造物近接等の電波障害が起きやすい地域
- ・朝夕の時間帯、雷雨時、太陽活動等の自然環境からの影響

■ 薄暮モードについて

視認性が低下し事故の危険性が高まる薄暮時から高輝度発光を開始し、注意喚起を行います。

※薄暮時に高輝度で発光し、暗くなると通常発光に切り替わります。

■ 太陽電池製品について

- ・使用上のご注意

ニッケル水素蓄電池を使用し、通常の充電環境※1で電池寿命は約二年となります。

品質維持のためには二年ごとの製品交換を推奨致します。(蓄電池のみの交換はできません。)

無日照動作期間は満充電での期間となりますので、充電状況によっては短い期間で不点滅の場合があります。

※1) 設置場所で避けたほうが良い状況について

日照の悪い箇所(午前11:00~午後3:00の間に日陰が生じる箇所)

街路灯の直下などで夜間でも明るい場所